

令和6年度 生活支援コーディネーター活動報告

生活支援コーディネーター	担当圏域
千寿の里西小田 浅川信之	瑞浪地区、明世地区
美濃陶生苑 片桐千絵	土岐地区、釜戸大湫地区、日吉地区
瑞浪市社会福祉協議会 岩島、足立	陶地区、稲津地区

各地域の状況及びニーズの把握、ネットワーク構築、研修など	
活動状況	・各ふれあいいきいきサロンへの訪問、民生委員・児童委員協議会定例会等への参加、認知症カフェへの参加等を通じて地域の状況及びニーズの把握に努めた。 ・概ね月1回開催の生活支援コーディネーター会議を通じて、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、市高齢福祉課が情報共有を行った。
課題及び今後の活動	・ふれあいいきいきサロン等集いの場は現状把握にとどまっている。今後も継続して把握していくとともに、集いの場が無理なく継続して開催できるような取り組みを集いの場参加者と一緒に考えたい。 ・介護予防や地域づくりに関心の高い人とつながり、支え合いの地域づくりの協力者として共に取り組みを進める。 ・生活支援コーディネーター会議を継続して開催し、関係者の情報共有を行うとともに、地域の実情に合わせて、地域住民が支え合いの地域づくりに主体的に参加できるような事業の方向性について、検討を続けていく。関係者が共通の認識を持って事業推進を行えるよう、スキルアップの研修も参加出来ると良い。

支え合いのススメ懇談会	
活動状況	・昨年度に引き続き、第2層協議体設置に向けた前段階の取り組みとして懇談会を開催し、現在までに計2回開催をした(年間で4回の開催を計画)。 ・第1回目は6月3日に開催し、「情報交換したいこと」や「他の方の話を聞いてみたいテーマ」をもとにグループワークを実施し、課題と解決策についての話し合いを行った。 ・第2回目は9月9日に開催し、「見守り」をテーマにグループワークを実施。各個人が普段行っている見守り活動についての情報交換を行い、見守りにおける具体的な確認ポイントを話し合った。また、他のグループの情報も共有することで見守り活動への理解を深めることができた。 ・今年度、懇談会の参加者によるサロンの発足、支え合い活動の立ち上げがあった。
課題及び今後の活動	・第2層協議体設置に向けた取り組みとして懇談会を開催しているが、地域住民の方のペースを大切にすることや協議体への理解を深めていくことが昨年度からの課題であり、重要なポイントである。 ・目的である第2層協議体の設置については、結果を急がず、懇談会を継続的に開催し、地域住民の方の理解へと繋げることで、それぞれの地域に応じた協議体の設置へと発展することができると考える。

周知活動	
活動状況	・11月23日開催の健康まつりで、支え合い活動の周知を目的とした催しを予定。 ・支え合い活動の必要性を周知する展示に加え、「ちょこっと掲示板～私、〇〇やってます～」と題し、参加者に自身が行っている地域活動を付箋に書き貼り付け、掲示する企画を実施したいと考えている。 ・「ちょこっと掲示板」には、挨拶・ゴミ拾い・地域清掃への参加等、身近な活動を気軽に記入してもらうことで、活動状況の見える化を図り、地域支え合い活動とその必要性を多くの市民に周知したいと考えている。参加者が他人事ではない、自分事とじていただけることを期待している。
課題及び今後の活動	・支え合い活動の活性化のため、多くの方にこの活動が気軽に身近なものと感じていただけるよう、継続して啓発活動に努める必要がある。 ・これまでの周知活動について検証し、効果的な周知方法を検討し次年度計画を作成したい。